

対面式（4月12日（火）） 校長挨拶

はじめよければすべてよし。

いわき湯本高校という新しい学校が始まりました。

皆さん一人一人にとって、新しい学校生活が始まりました。

皆さん、よいスタートを切ったでしょうか。

私には夢があります。

さはこの丘の本校舎とあかさかの丘の遠野校舎から、いわき湯本高校という新しい風を吹かせたい、という夢です。

そのために、大切なことが3つあります。

始業式、入学式で話したことです。

皆さん、胸に刻んでいますか。

1つめは、「ありがとう」と言える・言ってもらえる生徒になること。

「ありがとう」と言えるためには、「友愛」の心が必要です。

「ありがとう」と言ってもらえるためには、「創造」する力が必要です。

「ありがとう」と言える・言ってもらえる人が、「自立」した人です。

つまり、校訓「自立」「友愛」「創造」を身につけた人になることです。

2つめは、地域とともにある学校をつくること。

地域を愛し、地域に愛され、地域を支える人なることです。

3つめは、学校づくりは自分づくり。

これまでの湯本高校、遠野高校の「よき伝統・実績、熱い思い」を引き継ぎながら、「新しい学校」をつくることを通して、それまで気づかなかった自分の「新しい可能性」を発見し、磨き上げ、成長することです。

これら3つのことを大切に、いわき湯本高校での学校生活をすばらしいものにして欲しい。

そうやって、いわき湯本高校という新しい風を吹かせて欲しい。

皆さん一人一人の頑張りに期待しています。

はじめよければすべてよし。

「明日への扉を開き、新たな時代（とき）」を、さあ、ともに行こう。

輝く未来に向かって、頑張れ、いわき湯高生。

全校集会（4月12日（火）） 校長挨拶

「常磐（ときわ）の丘陵（おか） 仰ぐ天空（そら）は 高々と」

いわき湯本高校の校歌は本当にすばらしい。

私には夢があります。

さはこの丘の本校舎とあかさかの丘の遠野校舎の生徒、先生が一堂に会し、いわき湯本高校の校歌を、みんなで声高らかに歌い上げたい、という夢です。

コロナ禍において全校生で校歌を斉唱することは、かんたんに実現できることではありません。

本日の対面式及び全校集会は放送によるものであり、ここしばらく全校集会は実現しておりません。

今年度は公開文化祭があります。昨年度は中止でした。

全校応援、球技大会・・・実現できるのか。

あきらめてはいけません。

感染症対策を踏まえ、どのようにすれば、何が、どこまで可能なのか、模索していきたい。

そのためにも、皆さん一人一人が感染症対策を徹底しながら、さまざまな活動の可能性を切り拓いていく必要があります。

そうやって、コロナ禍において、日々の授業、部活動・委員会活動などを継続できるようにし、いわき湯本高校での学校生活をすばらしいものにして欲しい。

感染症対策と学校でのさまざまな活動の両立に向け、皆さん一人一人の地道な頑張りに期待しています。

「常磐（ときわ）の丘陵（おか） 仰ぐ天空（そら）は 高々と」

みんなで我が校の校歌を声高らかに歌いたい。

「明日への扉を開き、新たな時代（とき）」を、さあ、ともに行こう。

輝く未来に向かって、頑張れ、いわき湯高生。